

認知症クイズ



第1問 認知症は誰でも起こりうる病気である。

☐

第2問 昨日の夕食の内容が思い出せないのは、認知症である。

☐

第3問 認知症で一番多いのは、のうけっかんせいになちしょう脳血管性認知症である。

☐

第4問 認知症になると、ほとんどの人に物とられもうそう妄想やはいかい徘徊が見られる。

☐

第5問 認知症は予防や治療が出来ない病気である。

☐

第6問 認知症の人は、初めの頃、物忘れによる失敗に気づいていない。

☐

第7問 認知症の人の感情は、非常に敏感である。

☐

解答編

<参考資料>京都市発行 [「心でつなぐ、地域でつむ」認知症“」](#)パンフレットより

【第1問】認知症は誰でも起こりうる病気である。

○(1ページ)認知症は様々な原因で脳の細胞が壊れたり、働きが悪くなることで起こる病気です。85歳以上の4人に1人にその症状があると言われています。

【第2問】昨日の夕食の内容が思い出せないのは、認知症である。

×(2ページ)老化によるもの忘れは、体験の一部を忘れます。認知症の物忘れは、体験の全体を忘れ、夕食を食べたこと自体を忘れてしまいます。

【第3問】認知症で一番多いのは、脳血管性認知症である。

×(3ページ)アルツハイマー型認知症が一番多く(約50%)、次が脳血管性認知症、レビー小体病で3つのタイプで80～90%を占めます。

【第4問】認知症になると、ほとんどの人に物とられ妄想や徘徊が見られる。

×(4ページ)認知症には「中核症状」と「周辺症状」の二つがあり、周辺症状である物とられ妄想や徘徊は、従前の性格や環境なども影響し、出ない人もいます。

【第5問】認知症は予防や治療が出来ない病気である。

×(4,5ページ)日常生活など気をつけることでリスクを下げることはできます。また、早めに治療すれば改善が可能なものもあり、早期の診断・治療が大切です。

【第6問】認知症の人は、初めの頃、物忘れによる失敗に気づいていない。

×(8ページ)最初に気づくのは本人です。物忘れや失敗が増え、何かおかしいと本人自身が不安を感じています。

【第7問】認知症の人の感情は、非常に敏感である。

○認知症が進行し、理解力や記憶に障害があっても「うれしい」「悲しい」など豊かな感情やプライドは残っています。気持ちを理解した対応が大切です。